

「クラウド会計ソフト freee」が米「Slack」とAPI連携 同社とのAPI連携は日本の会計業界では初の事例

freee は、当社が提供する「クラウド会計ソフト freee」が、Slack Technologies（米国、以下 Slack）が提供する法人向けチャットサービス「Slack」とAPI連携したことをお知らせいたします。今回の連携により、「クラウド会計ソフト freee」で申請した経費精算、支払依頼、稟議ワークフロー^{（注1）}などの通知が「Slack」に届き、「Slack」上で承認や差戻し、却下などの操作を行えることとなります。なお、「Slack」が会計業界とのAPI連携を行うのは国内初の事例^{（注2）}となります。

【承認者に承認依頼が届いた場合】



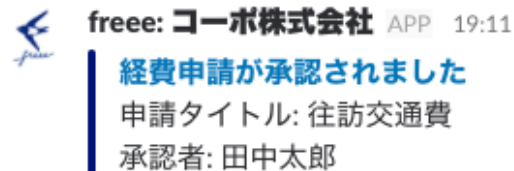
freee: コーポ株式会社 APP 19:16

経費申請の承認依頼が届いています
申請タイトル: 往訪交通費
申請者: 田中太郎
申請の合計金額: 133円

経費1
日付: 2017/10/31
金額: 133円
某社への交通費です。

備考
備考です。

【申請者に承認結果が届いた時】



freee: コーポ株式会社 APP 19:11

経費申請が承認されました
申請タイトル: 往訪交通費
承認者: 田中太郎

（「Slack」上のユーザーインターフェースイメージ）

■ 「クラウド会計ソフト freee」発の申請が slack 上で承認・却下・差戻しなどの操作が可能

今回「Slack API」に「クラウド会計ソフト freee」がAPI連携することにより、「クラウド会計ソフト freee」上で行った経費精算、支払依頼、稟議ワークフローなどの申請から承認に至る一連のコミュニケーションに関して、申請者と承認者の Slack ID に通知されるようになりました。

具体的には、以下のアクションが行われた際、承認、却下、差戻しの操作、申請結果の確認が可能となります。

- 申請の承認依頼が承認者に届いた時
- 申請に承認者からコメントが付いた時
- 申請が承認、差戻し、却下された時



free は、複数のクラウドサービスを組み合わせることによって、ユーザーの業務改革を実現するクラウドインテグレーション^(注3)を推進しています。Slack との API 連携により、free はユーザーのコミュニケーションプロセスを合理化し、意思決定の迅速化に貢献してまいります。

「クラウド会計ソフト freee」と「Slack」の連携方法は、[こちら](#)をご確認ください。

注1：当社サービス「[クラウドワークフロー](#)」

注2：当社調べ

注3：例えば、当社と [Salesforce と API 連携](#)もクラウドインテグレーションの事例

■ free 株式会社について

「スモールビジネスに携わる全ての人々が創造的な活動にフォーカスできるよう」をミッションに掲げ、人工知能（AI）技術を使った最先端の機能開発や金融機関との連携により、バックオフィス業務効率化のソリューションを提供している。

<会社概要>

会社名 free 株式会社（登記名：フリー株式会社）

代表者 代表取締役 佐々木大輔

設立 2012年7月9日

資本金 96億603万円（資本準備金等含む）

所在地 東京都品川区西五反田2-8-1 ファーストビル9F

<提供サービス>

「クラウド会計ソフト freee」	https://www.freee.co.jp
「人事労務 freee」	https://www.freee.co.jp/hr
「マイナンバー管理 freee」	https://www.freee.co.jp/my-number
「会社設立 freee」	https://www.freee.co.jp/launch/
「開業 freee」	https://www.freee.co.jp/kaigyou
「freee カード」	https://www.freee.co.jp/card
「経営ハッカー」	https://keiei.freee.co.jp/
「パラキャリア」	https://parallelcareer.freee.co.jp/

<本件に関するお問い合わせ先>

free 株式会社 広報 (PR)

定田 充司 (Atsushi Joden) E-mail: pr@freee.co.jp